

*** SSR 産学戦略的研究フォーラム 平成 28 年度プロポーザル募集のご案内 ***

SSR 産学戦略的研究フォーラムは産学の研究者による協同作業を通して、ソフトウェア分野における戦略的研究課題に対し調査・研究支援を行っています。このフォーラムの特徴は、賛助企業が研究や調査の助成金を提供するだけでなく、テーマに分かれた研究調査活動に参加し、産学の研究者、技術者、実務者が共同でユニークな活動を展開するところにあります。したがって、次のような点を考慮した調査研究のプロポーザルを求めます。

1. 参加型の産学協同研究の場を作っていくこと
2. ニーズとシーズの接点から生まれる新たな発想を生み出すこと
3. なんらかの実験の場として考えること(とくにソフトウェア研究は実験がしにくいものですが、産学が会する場で小規模でも意味のある実験を試すのは意義のあるテーマになるでしょう。)

応募資格： 大学等研究機関に所属しており、申請者を含む 2 名以上の大学等に所属する研究者が調査研究をすること

調査研究期間： 平成 28 年 6 月～平成 29 年 3 月

調査研究費： 70 万円～100 万円

- プロポーザルの記述項目：
- 1.調査研究テーマ
 - 2.そのテーマの戦略的意義/位置付け
 - 3.調査研究の概要
 - 4.調査研究の進め方(共同研究者など)

■締切り： 平成 28 年 5 月 20 日(金)

■応募方法： 所属機関・氏名・略歴・上記項目を A4 3～4 枚にまとめ E-mail で事務局 (msato@iisf.or.jp) に送付

■選考方法： 当運営委員会において選考し、選考結果は 6 月初めに通知

■採用予定件数： 数件

■送付先および問合せ先： SSR 事務局 (E-mail: msato@iisf.or.jp)

■URL： <http://www.iisf.or.jp/SSR>

■運営委員： 奥乃博(早稲田大学), 深澤良彰(早稲田大学), 本位田真一(国立情報学研究所), 増原英彦(東京工業大学)

■賛助企業： 東芝, とめ研究所, 日立製作所

◎テーマ例(必ずしも例にとらわれずに自由なテーマをご提案下さい)

○CPS, スマートコミュニティ

・インフラ保守管理における情報処理技術の調査研究 ・都市生活における安全・安心を担保する ICT 技術

○M2M

・M2M に関する標準化動向と技術課題の調査

○ソフトウェアエンジニアリング

・既存のソフトウェア資産を新ビジネス発掘に活かすためのレガシーマイグレーションとソフトウェア進化

・変化に強く進化可能な高品質ソフトウェアメトリクス

・DSL(Domain-Specific Language)/DSM(Domain-Specific Modeling)に関する技術動向の調査研究

○ソフトウェアエンジニアリング～ITSM

・エンタープライズ・アーキテクチャからビジネスモデル導出までのプロセスを支援する方法に関する調査研究

・日本的ものづくりの強みを生かしたソフトウェア開発の実態に関する調査研究

・オフショア活用のための協調設計・開発技術 ・SoS(System of Systems)エンジニアリングに関する動向の調査研究

・IT リスクマネジメント技法に関する調査研究 ・プロジェクトマネジメントに関する認知科学的取組みに関する調査研究

○組込み

・組み込みソフトウェアの信頼性を画期的に向上させる技法の調査研究 ・組込み系における上流設計・アーキテクチャ

○ユーザインタフェース, モバイル

・五感センサを活用した斬新なユーザインタフェース技法の調査研究

・実世界のモノを情報世界に取り込む技術の調査研究(Tangible Interface, M2M, IOT などの応用)

・人の状況に合わせた情報サービス技術の調査研究(Context Aware 技術, Ambient Intelligence などの応用)

○ソーシャル

・SNS 関係 ・スマートコミュニティにおける住民, コミュニティの満足度向上に関する調査研究

○人材育成

・ソフトウェア技術者のスキル定義と育成に関する調査研究